



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 161
R7. 9. 18
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

失敗者や敗者はとても素敵だ ~チャレンジャーは「弱者」にならない~

年齢を重ねて世の中のことや政治や社会のシステムを恨んで、「もう、どうやっても世の中は変わらない」「いくら頑張っても認められない」と、あきらめてしまいがちです。こんな風に、自分の弱さを振りかざし、すべてを人のせい、社会のせいにするのが「弱者」です。

私は「弱者」になりたくないと思っています。私はちっぽけな一人の教師です。「日本の教育を変える！」なんてことは難しいですが、「自分ができることは自分の手の届く範囲ほどもある」と思い、南小の子どもたちのために自分ができることを行っています。何歳になってもチャレンジし続けていきたいと思っています。

さて、多くの子どもたちが、校長室に暗唱チャレンジに来ますが、1回で合格する子もいれば、途中でつかえて何度もチャレンジする子も少なくありません。失敗してもあきらめずに粘り強くチャレンジを続ける「失敗者」の子どもたちは、とても素敵だと私は思います。

「失敗した」とか「負けた」は、チャレンジし、勝負をした証(あかし)なのですから。

今は失敗したけれど、次は上手くいくかもしれないのです。成功者や勝者になる可能性があるのは「失敗者」や「敗者」です。

チャレンジをしない人には、そういった可能性が狭くなりますが、「失敗者」や「敗者」には、何かが起こる可能性が広がります。

今、世界陸上が東京で行われていますが、勝者と敗者にはそんなに大きな違いはなく、スタートラインに立っている時点で同じではないかと思いつつ、テレビ越しに選手を応援しています。



【暗唱にチャレンジする南っ子】

10秒の愛、与えていますか？



大切な我が子と向き合い、子どもの心が安定するような関係づくりをしていくために、私たち大人ができることは・・・

慌ただしい日々の中で、ゆったりとした気持ちをもつことの大切さをつい忘れがちですね。

昨年の保護者全体会で「10秒の愛」キャンペーンを坂下南小の取組としてみんなで実践していきましょうとお話ししました。

10秒間、しっかり我が子を抱きしめてあげてください。10秒間、話をしっかり聞いてあげてください、我が子を見つめ、「やさしさ」という貯金を増やすために。

ほんのちょっとした時間、愛のシャワーを子どもに降り注いであげてください。お父さん、お母さんの10秒で子どもは温かい気持ちで満たされます。

10秒だけでも

- しっかりと抱きしめてあげる
- 「早く！」っていう前に待ってあげる。
- 10秒冷静になれば伝える言葉が優しくなる
- せかさずに、目を見てじっくり聴いてあげる

裏面に暗唱チャレンジ9月上旬～中旬の合格者の写真を掲載したのでご覧ください。今回掲載できなかった人は次回掲載します。

暗唱チャレンジ（9月上旬～中旬）

